

1 文の組み立て

考え方

1のように、助詞「こそ」がついて主語になることもありま
す。3は重文です。4は文の語順が入れかわっています。「君
の目から大つぶのなみだが、次から次へと落ちる。」というふ
つうの語順に直すと、主語と述語をつかみやすいでしょう。

4 1とイは単文、2とウは重文、3とアは複文です。

答え

- 1 私の姉の将来の夢は幼いころからずっと同じだ。
 - 2 かれこそ私たちのチームの代表にふさわしい。
 - 3 父は母と早朝からゴルフに出かけ、ぼくは友人と遊ぶ。
 - 4 次から次へと落ちる、君の目から大つぶのなみだが。
 - 5 日曜日の午後、やわらかな自然の光が、私の部屋をやさしく包む。
- 2
- 1 (主語) ウ (述語) ケ / (主語) カ (述語) キ
 - 2 (主語) イ (述語) エ / (主語) オ (述語) ケ
 - 3 (主語) ア (述語) ウ / (主語) エ (述語) ク
- (主語) オ (述語) カ (順不同)
- 3
- 1 ウ
 - 2 ア
 - 3 イ
- 4
- 1 イ
 - 2 ウ
 - 3 ア

2 品詞

考え方

1 打ち消しの助動詞「ない」は「ぬ」に置きかえられます。ウ
「終わらぬ」、オ「思いつかぬ」と言いかえることができますね。
3 1「様態」を表す「そうだ」は動詞の連用形に接続するので、
「完成する」を連用形「完成し」に直します。「伝聞」を表す「そ
うだ」は終止形に接続するので、「完成する」を用います。

4 形容動詞の言い切りの形と「名詞+だ」の見分け方

・直前に「とても」を入れて意味が通る
・「だ」を「な+名詞」に置きかえられる } 形容動詞

イ「とてもほがらかだ」「ほがらかな人」と置きかえられるの
で「ほがらかだ」は形容動詞です。エ「とてもココアだ」「コ
コアな味」はおかしいので、断定の助動詞の「だ」です。

5 4「売れる」、5「あふれる」の「れる」は動詞の一部です。

答え

- 1 ウ・オ (順不同)
- 2 1イ 2ア
- 3 1明日には完成しそうだ。
2明日には完成するそうだ。
- 4 エ
- 5 1エ 2ア 3ウ 4× 5× 6イ

Z会 × すたペンドリル

考える楽しさを体験しよう!



くわしくは
こちら!

Z会の本



かわいい小学生になろう

考え方

2 1 反対の意味の漢字の組み合わせ、2 似た意味の漢字の組み合わせ、3 上の漢字が下の漢字を修飾(説明)する関係、4 「くを」「くに」という形で、下の漢字から上の漢字にかえて読むもの、5 上の漢字と下の漢字が主語・述語の関係、6 上に打ち消しの漢字がつくものです。

3 まず 1 2 「暖・善」の似た意味、反対の意味を考えて、残ったものをウ「暖↓()」「善↓()」に入れるとよいでしょう。
 4 音読みをカタカナ、訓読みをひらがなで表すと、次のようになります。①「ジもと」、②「みちジュン」、③「ヤクわり」、④「のはら」、⑤「カンサツ」、⑥「ダイどころ」、⑦「にモツ」、⑧「エホン」。

答え

- | | | | | | | | |
|---|------------|---|----------|---|-----|---|-----|
| 1 | カ・あ | 2 | ウ・お | 3 | エ・か | 4 | ア・う |
| 5 | オ・い | 6 | イ・え | | | | |
| 2 | 1 ケ・シ | 2 | オ・キ | 3 | エ・サ | 4 | イ・ク |
| 5 | ウ・カ | 6 | ア・コ | | | | |
| 3 | 1 ア温・イ寒・ウ冬 | 2 | ア良・イ悪・ウ人 | | | | |
| 4 | 1 ウ | 2 | エ | 3 | ウ | 4 | イ |
| 7 | エ | 8 | ア | | | | |

Z会 × すたペンドリル

考える楽しさを体験しよう!



くわしくは
こちら! /

Z会の本



かっこいい小学生になろう